



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

岐阜県羽島市で捕獲されたスウィンホーキノボリトカゲ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-07-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 向井, 貴彦, 田上, 正隆 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/56036

岐阜県羽島市で捕獲されたスウィンホーキノボリトカゲ

向井 貴彦^{1*}・田上 正隆²

¹ 〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学地域科学部

² 〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町 1453 世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ

Record of the Swinhoe's tree lizard *Japalura swinhonis* Günther (Squamata, Agamidae) from Hashima, Gifu Prefecture, Japan.

Takahiko Mukai^{1*} and Masataka Tagami²

¹ Faculty of Regional Studies, Gifu University, 1-1 Yanagido, Gifu, 501-1193 Japan

² World Fresh Water Aquarium, 1453 Kawashimakasada, Kakamigahara, Gifu, 501-6021 Japan

Abstract. An adult male of the Swinhoe's tree lizard *Japalura swinhonis* was collected from Hashima, Gifu, Japan on 22 March 2014. Although this species is endemic to Taiwan, non-indigenous population has supposedly been established already in Iwata, Shizuoka, Japan, most likely as a result of unintentional introduction. The present individual was found near the cargo from Taiwan. These cases, along with recent record of *J. swinhonis* found at the custom check of cargo from Taiwan in New Zealand, suggest that this lizard may occasionally be transported within cargo holds from the native range.

Key words: *Japalura swinhonis*, alien species, unintentional transport

(要約)

岐阜県羽島市で、台湾よりの貨物からスウィンホーキノボリトカゲのオスの成体1個体が発見された。国内では本種は、これまで静岡県での侵入事例が知られているだけであったが、他地域においても貨物に紛れた侵入が生じていることが示された。

スウィンホーキノボリトカゲ *Japalura swinhonis* Günther, 1864 は、有鱗目アガマ科に属する台湾の固有種であるが、日本で台湾から輸入された植物に紛れて侵入したと考えられる個体が静岡県磐田市内で捕獲されており、発見された場所の周辺ではすでに定着している可能性が示されている (加藤ほか, 2010; 加藤ほか, 2013)。

海外からのトカゲ類の侵入についての報告は少なく、静岡県におけるスウィンホーキノボリトカゲの侵入が極めて稀な出来事であるのか、あるいは潜在的な侵入のリスクが全国的にあるのか不明である。しかし、今回、岐阜県羽島市において捕獲されたスウィンホーキノボリトカゲの生体が世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ

*連絡先 (Corresponding author): tmukai@gifu-u.ac.jp

に持ち込まれたことから、外来爬虫類の潜在的な侵入リスクが広く存在することを示す情報として、ここに報告する。なお標本は世界淡水魚園水族館で冷凍保存した後、解凍した状態で体各部を測定した。測定後の標本は10%中性ホルマリンで一週間以上固定し、70%エタノール中に保存した。

スウィンホーキノボリトカゲ
Japalura swinhonis Günther, 1864

(Fig. 1)

標本

岐阜県博物館登録標本 GPM-Z 21818, ♂ 1 個体, 頭胴長 73.72 mm, 尾長 178.9 mm, 頭長 23.4 mm, 前肢長(右) 37.67 mm, (左) 37.31 mm, 後肢長(右) 65.17 mm, (左) 63.96 mm, 両眼間隔 10.73 mm, 吻長 9.12 mm, 体重 12.1 g, 岐阜県羽島市正木町において輸入コンテナ(台湾・桃園からの貨物)の中から荷物の下に敷くパレットを外に移動させている際、コンテナの外に出したパレットの下にいるところを渡辺明心氏が発見, 2014年3月22日に捕獲。発見時

には腹部をパレットに轢かれて瀕死の状態であった。

記載

上唇板上部にキールの強い鱗が並ぶ。眼窩周辺には不鮮明な12本の黒線が放射状に並ぶ。背面に頸部から尾部まで続くV字黒色帯を有し、体側部に頸部から後肢の付け根までの象牙色の縦帯を有す。尾部には11個の不鮮明な黒輪が並ぶ。暗灰色の喉部には22個の白く丸い斑紋が不連続に広がる。胴の腹部は灰色で、口蓋は暗灰色である。

これらの形態的特徴および体各部の計測結果は、加藤ほか(2010)が報告した静岡県産スウィンホーキノボリトカゲと一致した。また、発見された場所が台湾からの輸入貨物の近くであることから、本種を台湾原産のスウィンホーキノボリトカゲと同定した。

考察

スウィンホーキノボリトカゲは台湾固有種と



Fig. 1. 2014年3月22日に羽島市の台湾からの輸入コンテナ付近で捕獲されたスウィンホーキノボリトカゲ。GPM-Z 21818。田上正隆撮影。

されており、静岡県産の個体は、台湾から植物を輸入する業者のビニールハウスが並ぶ田園地帯で捕獲されているため、台湾からの輸入植物に紛れて侵入したと考えられている（加藤ほか, 2010）。岐阜県羽島市では台湾からのコンテナ内から移動させたパレットの下で見つかったことから、本種は台湾からの植物だけでなく、貨物に紛れて侵入する場合もあることが強く示唆された。本報告の個体は、発見時にすでに腹部を轢かれ瀕死の状態であったが、温暖な時期に健康な個体が侵入した場合は、野外で生き延びる可能性も考えられる。

国内の島嶼間におけるキノボリトカゲ属の人為分散の事例としては、九州南部の宮崎県、及び鹿児島県の本土部や屋久島への、中琉球からのオキナワキノボリトカゲの侵入・定着が報告されている（Ota *et al.* 2006; 末吉ほか, 2007; 中間, 2008; 太田ほか, 2012; Jono *et al.*, 2013）。さらに海外でも、たとえばニュージーランドで、台湾からの貨物に紛れ込んだスウィンホーキノボリトカゲが税関で発見された事例が知られており（Chapple *et al.*, 2016）、このことから船船等による貨物および植物の輸送によるキノボリトカゲ類の侵入は生じやすいと考えられる。本種の場合、静岡県で定着している可能性があるため、西南日本のより温暖な地域では新たな侵入定着が生じる危険性がより高いことが危惧される。こうした外来生物の侵入防止については、小動物の貨物への侵入を前提とした検疫体制の強化などが必要であると考えられる。

謝 辞

捕獲したスウィンホーキノボリトカゲを提供していただいた渡辺明心氏と、種同定にあたり参考資料を提供いただいた神戸市立須磨海浜水族園の笹井隆秀氏、非常に丁寧な査読と文献の提供をいただいた匿名の査読者に心より御礼申し上げます。

引用文献

- Chapple D. G., Knechtmans J., Kikillus H., and van Winkel D., 2016. Biosecurity of exotic reptiles and amphibians in New Zealand: building upon Tony Whitaker's legacy. *J. Royal Soc. New Zealand*, **46**: 66-84.
- Jono T., Kawamura T., and Koda, R., 2013. Invasion of Yakushima Island, Japan, by the subtropical lizard *Japalura polygonata polygonata* (Squamata: Agamidae). *Curr. Herpetol.* **32**: 142-149.
- 加藤英明・細田昭博・大庭俊司・衛藤英男, 2010. 静岡県で記録されたスウィンホーキノボリトカゲ *Japalura swinhonis* Günther (Squamata, Agamidae). *日本生物地理学会会報*, **65**: 9-12.
- 加藤英明・大庭峻輔・大庭俊司・衛藤英男・多比良嘉晃, 2013. 静岡県磐田市におけるスウィンホーキノボリトカゲ *Japalura swinhonis* Günther (Squamata, Agamidae) の繁殖と食性. *東海自然誌*, **6**: 35-38.
- 中間 弘, 2008. 鹿児島県指宿市におけるキノボリトカゲ (*Japalura polygonata*) の分布について. *鹿児島県立博物館研究報告*, **27**: 65-66.
- 太田英利・那須哲夫・末吉豊文・星野一三雄・森田哲夫・岩本俊孝, 2012. 鹿児島県「本土部における国内外来種オキナワキノボリトカゲ *Japalura polygonata polygonata* (Hallowell, 1861)(爬虫綱, アガマ科) の生息状況. *Nature of Kagoshima* **38**: 1-8.
- Ota H., Hoshino I., and Sueyoshi T., 2006. Colonization by the subtropical lizard, *Japalura polygonata polygonata* (Squamata: Agamidae), in southeastern Kyushu, Japan. *Curr. Herpetol.*, **25**: 29-34.
- 末吉豊文・星野一三雄・太田英利, 2007. 宮崎県日南市におけるオキナワキノボリトカゲ繁殖個体群の発見. *宮崎県総合博物館研究紀要*, **28**: 1-5.
- (2016年4月20日受領, 2016年6月21日受理)